

X 関連事業の概要

○ 今回のテーマに賛同する団体や機関等が、自主的にフォーラムの趣旨に即して実施する事業として位置付け、以下の通り、13団体等による24事業が実施されました。

No	主 催 者 名 称	事 業 の 名 称
1	(独) 国立科学博物館	科博NEWS展示「東日本大震災被災標本のレスキュー活動」
2	(独) 国立科学博物館	「恐竜博2011」東北地方応援企画
3	(独) 国立青少年教育振興機構	岩手 しぜんとあそぼ in テンパーク～夏キャンプ～
4	文部科学省	子ども霞が関見学デー
5	内閣府（防災担当）	防災フェア2011
6	(独) 国立青少年教育振興機構	テンパーク広場2011 親子宿泊体験
7	山口県立大学附属地域共生センター	生涯学習ボランティア講座～学びを活かし活躍するステージへ始動～
8	(社) 日本図書館協会	平成23年度第97回全国図書館大会（多摩大会）
9	(独) 国立女性教育会館	平成23年度 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)
10	(独) 国立女性教育会館	平成23年度NWEC国際シンポジウム
11	(独) 国立青少年教育振興機構	岩手 しぜんとあそぼ in テンパーク～秋キャンプ～
12	日本生涯教育学会	生涯学習政策研究フォーラム「生涯学習推進に対する社会の要請にいかに応えるかーコミュニティの再定義と個人の自立ー」
13	文部科学省	平成23年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰式
14	(独) 国立女性教育会館	平成23年度男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)
15	(独) 国立女性教育会館	平成23年度「男女共同参画の視点に立った多様なキャリア形成支援研修」
16	放送大学	東京文京学習センターオープン記念 特別シンポジウム「生涯学習と地域コミュニティづくり～」
17	和歌山大学 (社) 国立大学協会	大学改革シンポジウム・大震災後の日本再建と新しい公共～今、大学と生涯学習の役割を問う！～
18	(独) 国立青少年教育振興機構	リフレッシュキャンプ《オータム》親子キャンプ 自然体験 in テンパーク～心のふるさと岩手山を間近に感じよう～
19	(独) 国立女性教育会館	女性情報アーキビスト養成研修(入門)
20	東京学芸大学	熟議2011 in 東京学芸大学
21	(独) 国立青少年教育振興機構	東日本大震災「緊急青年ボランティアミーティングⅢ」
22	(独) 国立女性教育会館	平成23年度「大学職員のための男女共同参画推進研修」
23	NPO法人大阪生涯学習インストラクターの会	フォーラム「震災後を生きる」～まなびは、新しい地域づくり・社会づくりのネットワークを創れるか？
24	(独) 国立青少年教育振興機構	高校生による全国防災ミーティング ここがスタート 広げよう！学生たちの防災の輪～未来のために共に学ぼう～



1 科博NEWS 展示 「東日本大震災被災標本のレスキュー活動」

開催日 平成23年6月28日(火)～12月27日(火)
会場 国立科学博物館(上野本館)
地球館1階 南側スペース
団体名 独立行政法人国立科学博物館

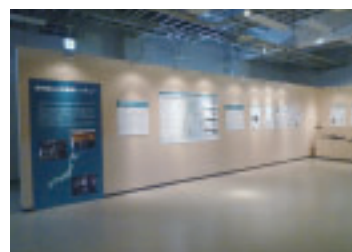
東日本大震災で被災した博物館等の標本を救うレスキュー活動において、当館の研究者が協力した、山田町立鯨と海の科学館・陸前高田市立博物館の海藻標本、陸前高田市立博物館の押し葉標本、石巻文化センターの縄文～古墳時代の人骨標本、陸前高田市立博物館のツチクジラ剥製の標本レスキューの活動を紹介しました。見学者からは、現地での活動や修復作業を知ることができて良かった、活動について感動した等感想を多数頂きました。



2 「恐竜博2011」東北地方応援企画

開催日 平成23年7月2日(土)～10月2日(日)
会場 国立科学博物館(上野本館)
団体名 独立行政法人国立科学博物館

恐竜博2011第二会場において、「東北地方にみる恐竜時代の仲間たち」として実施しました。「東北地方の最新化石で見る中生代爬虫類」コーナーでは、東日本大震災被災館の首長竜や魚竜等の重要標本の展示を、標本やペーパークラフト、パネルを用いて行いました。また、「博物館による標本レスキュー」コーナーでは広がる標本救援や復興支援活動の紹介等を、パネルや映像、実際にレスキューした標本等の展示により行いました。会期中約59万人の入場者数がありました。



3 岩手 しぜんとあそび in テンパーク ～夏キャンプ～

開催日 平成23年8月6日(土)～7日(日)
会場 国立岩手山青少年交流の家
団体名 独立行政法人国立青少年教育振興機構・アウトドアチャレンジ岩手県実行委員会

未曾有の大震災に見舞われた岩手県沿岸地域の子どもを対象に「心の復興」の一助となるよう、野外体験活動を企画しました。2地区から29名の参加者があり、50名のスタッフで心身のケアをしながら事業を展開しました。テント設営、火を使ったスイーツ作り、ハイキング、キャンプファイヤー、馬の飼育・乗馬体験により、子どもたちから、こぼれるような笑顔が見られました。



4 子ども霞が関見学デー

開催日 平成23年8月17日(水)、18日(木)
会場 文部科学省
団体名 文部科学省

子どもたちが親の職場を見学することなどを通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会として実施しています。今年度は、液状化現象の実験、発電体験、放射線について学ぶコーナーの設置など、親子で防災、環境、エネルギー等について考えるプログラムも行いました。



5 防災フェア2011

開催日 平成23年8月20日(土)、21日(日)
会場 東京臨海広域防災公園
団体名 内閣府(防災担当)

「防災週間」の主要行事として、国民の防災意識を高めることを目的に、防災に関する展示や体験、楽しく防災を学べるイベントなどを開催しました。

8月21日には、東日本大震災で津波から避難した岩手県釜石市の中学生や、岩手県陸前高田市で避難所を運営された方から、その当時の体験談を報告して頂きました。その様子は当日のテレビニュースで紹介されるなど、大きな反響がありました。



⑥ テンパーク広場2011 親子宿泊体験

開催日 平成23年9月3日(土)～4日(日)
会場 国立岩手山青少年交流の家
団体名 独立行政法人国立青少年教育振興機構

東日本大震災の津波被害を受けた地域の親子を中心に、心と体のリフレッシュをねらい、岩手県沿岸地域の全小学校にチラシを配布し、宿泊体験の募集を行い、25家族82名の参加がありました。

初日は、出会いのレクリエーションで心身を解きほぐし、参加型のサイエンスショーを体験し、大いに盛り上がりました。2日目は、テンパーク祭りに参加し、当所でできる様々な活動プログラムを体験してもらいました。



⑦ 生涯学習ボランティア講座 ～学びを活かし活躍するステージへ始動～

開催日 平成23年11月12日(土)
会場 山口県立大学4号館D14教室
団体名 山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門

受講生が企画した内容を受講生自らが運営するもので、地域と大学が連携する活動のテーマとして、「地域での中高年の活躍の場づくり」と「子育て支援」を事前に設定しました。午前の部は、中高年のために開設されているサロンについて、公開シンポジウム形式で探求するものでした。午後の部では、親同士の顔をつなぎ、子育て支援の仲間づくりをするために、交流の広場を受講生が運営しました。



⑧ 平成23年度第97回全国図書館大会(多摩大会)

開催日 平成23年10月13日(木)～14日(金)
会場 調布市グリーンホール ほか
団体名 社団法人日本図書館協会

今大会は、わが国の公共図書館の発展の基礎となった多摩地域で開催しました。1日目の全体会では「Help-Toshokanから、ともに目指す復興へ」をテーマに、岩手、宮城、福島からシンポジストを招いてシンポジウムを行い、今までの活動報告や今後の支援や復興について意見が交わされました。2日目には多摩地域12会場・18分科会で現在図書館界で抱える課題が討議され、約1,500人の参加者が集いました。



⑨ 平成23年度 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)

開催日 平成23年10月21日(金)～23日(日)
会場 国立女性教育会館
団体名 独立行政法人国立女性教育会館

初日と2日目に「第3次男女共同参画基本計画」を参考に設定したテーマに基づき、57件のワークショップを実施しました。最終日のシンポジウム「災害・震災復興と地域づくりー男女共同参画社会への展望」では、萩原なつ子氏(立教大学教授)のコーディネートのもと吉村美栄子氏(山形県知事)、中村順子氏(NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸理事長)、鈴木素雄氏(河北新報社論説委員長)より、それぞれの立場から、鋭い問題提起がなされました。



⑩ 平成23年度NWEC国際シンポジウム

開催日 平成23年10月29日(土)
会場 独立行政法人国際協力機構JICA研究所
団体名 独立行政法人国立女性教育会館

「災害復興とジェンダー」をテーマに二部形式で実施し、第一部では、堂本暁子氏(前千葉県知事・女性と健康ネットワーク代表)、セバリ・コテゴダ氏(APWW(アジア・太平洋女性監視機構)代表)に基調講演を頂きました。第二部「パネルディスカッション」及びポスターセッションには「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」研修生11名が参加し、10日間の研修成果を報告しました。





11 岩手 しぜんとあそび in テンパーク ～秋キャンプ～

開催日 平成23年11月5日(土)～6日(日)
会場 国立岩手山青少年交流の家
団体名 独立行政法人国立青少年教育振興機構・アウトドアチャレンジ岩手県実行委員会

未曾有の大震災に見舞われた岩手県の沿岸地域の子どもの対象にして、秋のキャンプを企画しました。2地区から70名の参加者があり、夏キャンプ同様50名のスタッフで心身のケアをしながら事業を展開しました。テント設営、火を使ったスイーツ作り、ハイキング、キャンプファイヤー、馬の飼育・乗馬体験により、子どもたちから、こぼれるような笑顔が見られました。



12 生涯学習政策研究フォーラム 「生涯学習推進に対する社会の要請にいかに応えるかーコミュニティの再定義と個人の自立ー」

開催日 平成23年11月6日(日)
会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
団体名 日本生涯教育学会

研究者、行政関係者、学生等、約50名の参加のもと、三浦春政氏(東京芸術大学)、井上講四氏(琉球大学)、横山幸司氏(岐阜県大野町総務部)、熊谷慎一郎氏(宮城県図書館)の4名の登壇者の方々から、それぞれの立場からの問題提起をいただき、厳しい状況中での新たなコミュニティの構築と生涯学習推進の在り方について、フロア全体で熱心に討議しました。

13 平成23年度優れた「地域による学校支援活動」 推進にかかる文部科学大臣表彰式

開催日 平成23年11月7日(月)
会場 文部科学省
団体名 文部科学省

学校支援地域本部や放課後子ども教室、コミュニティ・スクール等に基づいた地域の方々による学校支援活動のうち、特にその活動内容などが優れていると認められる活動(計120活動)について、文部科学大臣による表彰を行いました。



14 平成23年度男女共同参画交流特別週間 (らんざん交流ウィーク)

開催日 平成23年11月8日(火)～11日(金)
会場 国立女性教育会館
団体名 独立行政法人国立女性教育会館

男女共同参画の推進を目的とする団体・グループ間の交流促進等を目的として11月8日(火)～11日(金)の4日間開催し、延べ200人を超える方々が全国から参加しました。被災地支援などの時事プログラムとして、もりおか女性センターセンター長の田端八重子さんを講師にお招きし「被災地における支援活動」についてご講演頂きました。



15 平成23年度「男女共同参画の視点に立った多様な キャリア形成支援研修」

開催日 平成23年11月16日(水)～18日(金)
会場 国立女性教育会館
団体名 独立行政法人国立女性教育会館

女性関連施設・社会教育施設職員、団体・NPOのメンバー、大学等キャリア教育担当教職員等、全国から参加した75名が、会館の調査研究や実践で明らかになりつつある「複合キャリア」の概念や、長期的視野に立ったキャリア形成支援に必要な方策や今後の方向性について、講義、関係省庁による報告と討議、事例報告、コース別ワークショップなどにより専門的・実践的に学びました。



**16 東京文京学習センターオープン記念
「特別シンポジウム～生涯学習と地域コミュニティづくり～」**

開催日 平成23年11月20日(日)
会場 東京文京学習センター 大講義室
団体名 放送大学 東京文京学習センター

和歌山大学・山本学長、放送大学・白井理事長他のパネリストにより地域コミュニティの本質的な問題と向き合い、持続可能な地域コミュニティづくりと生涯学習の役割を模索するシンポジウムを開催しました。

①地域コミュニティの現状をどう見るか。私たちは何をしなければならないのか

②地域コミュニティに主体的に参加するうえで、生涯学習にはどのような力と可能性があるかをテーマに意見交換を行い、約200名の参加者が熱心に耳を傾け盛況のうちに終わりました。



**17 大学改革シンポジウム・大震災後の日本再建と新しい公共
～今、大学と生涯学習の役割を問う！～**

開催日 平成23年11月23日(水)
会場 和歌山大学松下会館
団体名 和歌山大学(社) 国立大学協会

「大震災後の日本再建と新しい公共の力」というテーマで鈴木寛参議院議員(前文部科学副大臣)による記念講演等が行われ、被災地における生涯学習の現場で奮闘する研究者・自治体担当者の経験を通して地域発展と地域生涯学習に寄与する大学の役割について学びあう場となりました。



**18 リフレッシュキャンプ《オータム》親子キャンプ自然体験 in テンパー
～心のふるさと岩手山を間近に感じよう～**

開催日 平成23年11月26日(土)～27日(日)
会場 国立岩手山青少年交流の家、網張ビジターセンター、休暇村岩手網張温泉
団体名 独立行政法人国立青少年教育振興機構

東日本大震災で被災した岩手県沿岸地域である大船渡地区、陸前高田地区の小学生以下の親子を対象とした事業を実施しました。宮沢賢治や石川啄木も愛した、岩手県民の心のふるさと：岩手山を間近に感じることができる自然体験活動をととして、心の傷を癒し、リフレッシュできるような活動を展開しました。



19 女性情報アーキビスト養成研修(入門)

開催日 平成23年12月1日(木)～2日(金)
会場 国立女性教育会館
団体名 独立行政法人国立女性教育会館

3月11日に発生した東日本大震災を受けて『災害経験を通して災害に備える』をテーマとし、資料の保存・管理について、防災・減災の視点に重点を置いたプログラム編成で開催しました。実際に被災地で活動している講師陣から現地の状況や被災した資料の写真や動画が紹介され、被災資料への実践的な対応、今後にむけての事前対策などの講義がありました。



20 熟議2011 in 東京学芸大学

開催日 平成23年12月3日(土)
会場 東京学芸大学第一むさしのホール
団体名 国立大学法人東京学芸大学

「子どもの豊かな学びと育ち：私たちができることってなんだろう」というテーマで、子どもに関わるNPOや地域住民、教育委員会や学校教員、企業、学生・院生、大学教員など182名が集まり、12グループに分かれ約2時間にわたる熱い熟議が繰り広げられました。最後のグループ別発表では、子どもや子どもを取り巻く大人・地域社会、学校などに関する問題提起や提言が行われ、各自が果たすべき役割について理解を深めました。





21 東日本大震災「緊急青年ボランティアミーティングⅢ」

開催日 平成23年12月2日（金）～3日（土）
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
団体名 （独）国立青少年教育振興機構

大学生や20歳代～30歳代の社会人を中心に、102名の方が参加し、被災地や東京で活動しているNPO団体や行政の方のリレートーク、福島県飯館村菅野典雄村長の特別トークセッション「“福島”のいま、そしてこれから」、最後に「継続支援のなかで大切にしたいこと」と題した研修が行われ、3つのグループで議論を深めました（テーマ：被災地の児童生徒への学習支援活動、被災者同士の交流を促進するサロンでの活動、初めてのボランティア活動）。



22 平成23年度 「大学職員のための男女共同参画推進研修」

開催日 平成23年12月8日（木）～9日（金）
会場 国立女性教育会館
団体名 独立行政法人国立女性教育会館

地域の知の拠点として重要な役割を担っている大学において男女共同参画が推進されるよう、大学・公的研究機関等の意思決定組織に所属する教職員等を対象とし、管理職として必要な知識・マネジメント能力・ネットワーク力を身につけるための高度で専門的な研修を行いました。大学・研究機関・高等専門学校等より意思決定組織に所属する教職員88名の方が参加しました。



23 フォーラム「震災後を生きる」 ～まなびは、新しい地域づくり・社会づくりのネットワークを創れるか？

開催日 平成24年1月28日（土）
会場 ミオホールD室
団体名 NPO法人大阪生涯学習インストラクターの会

震災被災地である福島県の子供達を北海道で宿泊学習させるという事業や、教育ネットワークを構築している事業の報告がありました。その後、大阪における、生涯学習を通じた新しい地域づくり・社会づくりの具体的な展開について、様々な立場の方々と話し合いました。今後、地域に根ざした取り組みをテーマに、各市町村でも話し合っていきます。



24 高校生による全国防災ミーティング ここがスタート 広げよう！学生たちの防災の輪～未来のために共に学ぼう～

開催日 平成24年2月4日（土）～5日（日）
会場 国立淡路青少年交流の家
団体名 （独）国立青少年教育振興機構

東日本大震災の被災地と近畿・四国地区で防災教育に取り組む児童生徒が「防災の大切さ」、「ボランティア」、「災害に強い町づくり」をテーマに討議し、その成果を「世界防災宣言」としてまとめ、世界へそして未来へ発信しました。

